



# 平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年1月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 一休  
 コード番号 2450 URL <http://www.ikyu.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成23年2月14日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 森 正文  
 (氏名) 大橋 広樹

TEL 03-6685-0019

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成23年3月期第3四半期の業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	2,321	5.1	466	△58.2	485	△57.5	273	△61.7
22年3月期第3四半期	2,208	7.4	1,117	3.1	1,141	2.4	713	13.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	918.31	918.29
22年3月期第3四半期	2,397.58	—

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	6,192	4,998	80.6	16,761.74
22年3月期	6,022	5,039	83.6	16,916.56

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 4,990百万円 22年3月期 5,036百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	1,100.00	1,100.00
23年3月期	—	0.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	1,100.00	1,100.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

## 3. 平成23年3月期の業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,060	9.7	593	△53.8	616	△53.2	330	△59.7	1,110.05

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

(注)簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期3Q 297,718株 22年3月期 297,718株

② 期末自己株式数 23年3月期3Q 一株 22年3月期 一株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期3Q 297,718株 22年3月期3Q 297,718株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

(単位：千円)

内 訳	前第3四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	対前年同期増減率 (%)	前事業年度 (自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)
サイト運営手数料収入	2,103,108	2,219,627	5.5	2,659,032
「一休.com」	1,974,825	2,003,553	1.5	2,491,947
「一休.comレストラン・ショッピング」	126,493	198,177	56.7	165,107
その他 「一休マーケット」等	1,789	17,896	900.1	1,977
広告収入、その他	105,136	102,335	△2.7	131,606
合 計	2,208,245	2,321,963	5.1	2,790,639

当第3四半期累計期間において、当社の主力事業である「一休.com」を取り巻く外部環境は、ホテルの稼働率・単価も徐々に戻り始め、少しずつ回復の兆しが見えてまいりました。

こうした状況の中、当社は新サービス開始への取組を強化し、本年10月には、「一休.com」中国語簡体字版サイトを開設し、また、クーポン共同購入サイト「一休マーケット」をスタートさせました。また、スマートフォンの利用増加を踏まえ、11月には「一休.com」iphoneアプリの配信を開始いたしました。

「一休.com」の取扱施設数は当第3四半期会計期間末において、ホテル1,314施設(うち一休.com business630施設)、旅館596施設、合計1,910施設となり、前事業年度末のホテル661施設、旅館564施設、合計1,225施設から685施設増加しました。一室あたりの平均単価は23,326円(前年同期23,286円)とほぼ下げ止まりました。旅館の販売が好調であったこと及び本年4月より開始した「一休.com business」が収益に寄与し始めたことなどにより、販売宿泊室数は約104万室(前年同期約104万室)、販売取扱高は24,195百万円(前年同期24,192百万円)となり、手数料収入は2,003百万円(前年同期1,974百万円)となりました。

「一休.comレストラン・ショッピング」におきましては、レストラン店舗のラインナップ拡充に努めるとともに、「一休.comギフト」及びおせちの販売を強化いたしました。その結果、手数料収入は198百万円(前年同期126百万円)となりました。

「広告収入、その他」は102百万円(前年同期105百万円)となりました。

これらの結果、「サイト運営手数料収入」は2,219百万円(前年同期比5.5%増)となり、「広告収入、その他」を加え営業収益は2,321百万円(前年同期比5.1%増)となりました。営業費用は、夏季における10周年キャンペーン広告の実施により特に広告宣伝費を575百万円(前年同期比193.4%増)増加させたことで、1,855百万円(前年同期比70.1%増)と予定通り大幅増加いたしました。結果、営業利益466百万円(前年同期比58.2%減)、経常利益485百万円(前年同期比57.5%減)、特別損失で資産除去費用を11百万円計上し、四半期純利益は273百万円(前年同期比61.7%減)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ170百万円増加し、6,192百万円となりました。その主な要因は、現金及び預金が386百万円、社債の償還に伴い有価証券が401百万円減少した一方で、資金運用の一環として社債の購入及び事業提携を目的とした株式取得等に伴い投資有価証券が719百万円、売掛金が122百万円増加したためであります。

負債合計額は前事業年度末に比べ211百万円増加し、1,194百万円となりました。その主な要因は、未払法人税等が220百万円減少した一方で、未払金が236百万円、預り金が77百万円増加したためであります。これらの増加は、クレジットカード事前決済の増加に伴うもの等であります。

純資産は、前事業年度末に比べ41百万円減少し4,998百万円となりました。その主な要因は、四半期純利益の計上による増加273百万円、配当の実施による減少327百万円によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期会計期間末における現金及び現金同等物は2,582百万円となり、前事業年度末と比べ386百万円減少しました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、467百万円の収入となりました。その主な要因は、税引前四半期純利益474百万円、減価償却費119百万円、営業債務の増加244百万円、売上債権の増加122百万円及び法人税等の支払額472百万円であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、530百万円の支出となりました。その主な要因は、社債の償還により400百万円収入があった一方で、社債の購入により500百万円、投資有価証券の取得により201百万円をそれぞれ支出した事等であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額324百万円の支出のみとなりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成22年9月29日に発表した「業績予想の修正に関するお知らせ」の通りほぼ進捗しているため、通期の業績予想に変更はありません。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

当第3四半期累計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、税引前四半期純利益は、12百万円減少しております。

(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

## 3. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,082,098	3,468,904
売掛金	436,940	314,879
有価証券	—	401,012
貯蔵品	3,397	896
前払費用	21,098	20,697
繰延税金資産	39,104	42,985
未収入金	318,834	297,501
未収消費税等	—	7,783
その他	5,856	14,061
貸倒引当金	△1,333	△1,477
流動資産合計	3,905,997	4,567,245
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	18,575	—
車両運搬具(純額)	7,725	2,428
工具、器具及び備品(純額)	49,773	32,613
有形固定資産合計	76,074	35,041
無形固定資産		
ソフトウェア	515,875	476,314
ソフトウェア仮勘定	—	87,866
電話加入権	44	44
無形固定資産合計	515,920	564,225
投資その他の資産		
投資有価証券	1,300,428	580,839
関係会社株式	30,600	30,600
破産更生債権等	2,165	1,879
繰延税金資産	178,354	148,598
敷金及び保証金	114,224	62,725
その他	71,120	33,277
貸倒引当金	△2,165	△1,879
投資その他の資産合計	1,694,726	856,040
固定資産合計	2,286,721	1,455,307
資産合計	6,192,719	6,022,552

(単位:千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払金	801,670	564,876
未払費用	2,296	1,589
未払法人税等	—	220,092
未払消費税等	11,405	—
前受金	88,200	16,390
預り金	161,743	84,063
ポイント引当金	81,626	54,422
流動負債合計	1,146,942	941,434
固定負債		
役員退職慰労引当金	47,596	41,172
固定負債合計	47,596	41,172
負債合計	1,194,539	982,607
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	888,998	888,998
資本剰余金	1,095,233	1,095,233
利益剰余金	3,000,621	3,054,713
株主資本合計	4,984,853	5,038,945
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	5,418	△2,582
評価・換算差額等合計	5,418	△2,582
新株予約権	7,908	3,582
純資産合計	4,998,180	5,039,945
負債純資産合計	6,192,719	6,022,552



(2) 四半期損益計算書

【第3四半期累計期間】

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
営業収益	2,208,245	2,321,963
営業費用		
役員報酬	97,860	122,819
給料手当	234,816	270,215
人材派遣費	82,974	154,992
広告宣伝費	196,044	575,182
支払手数料	96,844	127,346
システム関連費	76,312	143,092
減価償却費	37,527	119,172
貸倒引当金繰入額	—	326
役員退職慰労引当金繰入額	4,697	6,423
ポイント引当金繰入額	38,082	42,559
その他	225,640	292,947
営業費用合計	1,090,800	1,855,079
営業利益	1,117,444	466,884
営業外収益		
受取利息	5,951	5,049
有価証券利息	17,212	11,616
受取配当金	23	23
退職益	—	3,580
その他	1,178	1,446
営業外収益合計	24,365	21,715
営業外費用		
自己株式取得費用	57	—
為替差損	26	—
固定資産除却損	—	3,056
その他	—	158
営業外費用合計	83	3,214
経常利益	1,141,725	485,384
特別利益		
固定資産売却益	—	1,256
投資有価証券売却益	960	—
特別利益合計	960	1,256
特別損失		
投資有価証券評価損	—	84
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	11,968
会員権評価損	195	—
その他	—	30
特別損失合計	195	12,082
税引前四半期純利益	1,142,490	474,558
法人税、住民税及び事業税	434,672	232,526
法人税等調整額	△5,983	△31,365
法人税等合計	428,689	201,161
四半期純利益	713,801	273,397

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	1,142,490	474,558
減価償却費	37,527	119,172
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	11,968
固定資産売却損益(△は益)	—	△1,256
固定資産除却損	—	3,056
投資有価証券売却損益(△は益)	△960	—
投資有価証券評価損益(△は益)	—	84
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△964	142
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	4,697	6,423
ポイント引当金の増減額(△は減少)	30,298	27,203
受取利息及び受取配当金	△23,186	△16,689
売上債権の増減額(△は増加)	△54,135	△122,060
営業債務の増減額(△は減少)	142,189	244,693
未収入金の増減額(△は増加)	115,244	2,769
前受金の増減額(△は減少)	—	71,810
預り金の増減額(△は減少)	50,718	77,679
その他	△5,742	19,436
<b>小計</b>	<b>1,438,177</b>	<b>918,994</b>
利息及び配当金の受取額	26,989	20,397
法人税等の支払額	△562,354	△472,003
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>902,811</b>	<b>467,388</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△500,000	—
有形固定資産の取得による支出	△16,156	△45,963
有形固定資産の売却による収入	—	3,600
無形固定資産の取得による支出	△329,069	△84,654
投資有価証券の取得による支出	△950	△701,519
投資有価証券の償還による収入	500,000	400,000
投資有価証券の売却による収入	1,910	—
敷金及び保証金の差入による支出	△1,759	△63,634
その他	△7,172	△37,896
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△353,198</b>	<b>△530,068</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△1,507	—
配当金の支払額	△325,516	△324,125
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△327,023</b>	<b>△324,125</b>
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	222,588	△386,805
現金及び現金同等物の期首残高	2,560,119	2,968,904
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,782,708	2,582,098

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。